

3 事業利用実績

(1) 法人管理

- 丸子地域自治センターへ事務局を移転してから2年目となる平成27年度は、年4回の施設長会議をはじめ、温泉施設を管理する6事業所の施設長を集めての勉強会を実施し、情報の共有化と意思の統一化を図ってまいりました。
また、各事業所の広報担当者による広報部会等も開催し、事業団全体としての広報活動も積極的に進めてまいりました。
- 経理業務について、事務局の一元化と新会計システム導入後2年目の平成27年度は、更なる事務の効率化を図るため、各事業所における会計システムの利活用を進めてまいりました。
今後は、更に、会計システムを活用した事務の効率化と経理業務の一元化を図り、事業団全体の安定した経営と財政の健全化に向け、取り組んでまいります。
- 事業団職員のスキルアップを図るため、食品衛生管理、接客マナー研修等の研修計画を作成し、各種講習を実施してまいりました。
今後は、平成26年10月から開始した職員自主研修助成制度の利用促進に努め、職員の更なるスキルアップを図ってまいります。
- 広報活動については、事業団全施設を集約した総合パンフレットを6月に作成し、各事業所に置いて利用者に配布するとともに、上田市役所をはじめとする公共施設にも配置し、事業団施設の周知に努めてまいりました。
また、事業団通信の発行と、週刊うえだなどの地方情報紙へのイベント情報掲載など、各施設のPRを積極的に行ってまいりました。
- 上田市外への広報活動については、東京都練馬区で開催された「照姫まつり」や「練馬まつり」及び軽井沢で開催された「軽井沢ナイトキャンドル祭」において、事業団ブースを設置し、総合パンフレット等を配布するなど、事業団施設のPRと集客に努めてまいりました。
また、総務企画課では、日帰り温泉巡り「六文泉スタンプラリー」のPRを行い、事業団施設全体での相乗効果による利用促進対策に努めてまいりました。
- また、平成27年度は、一般財団法人移行に伴い策定した「公益目的支出計画」の最終年度となることから、「総務企画課」が主導となり、より効率的な法人運営と一体的な管理体制に努めてまいりました。

《平成27年度収支計算書 総括表 (抜粋)》

(単位：円)

項目	金額	備考
事業活動収入計	1,314,136,880	
事業活動支出計	1,441,279,603	(上田市寄付金) 184,875,079円含
事業活動収支差額 (当期収支差額)	△ 127,142,723	
前期繰越収支差額	210,176,430	
次期繰越収支差額	83,033,707	